



まちづくり協議会だより

3月号

令和3年2月28日現在
【世帯数】 249戸
【人口】 男：329名
女：355名
合計：684名
発行日： 令和3年3月16日
発行： 宮川まちづくり協議会



【特集】旧宮川小学校にいよいよOPEN！

“令和2年度いいとこ小浜協働推進事業”

「美やが和 子ども図書と
歴史アーカイブの館」

美やが和こども図書と 歴史アーカイブの館

午前の部

集まれ、宮川の子どもたち！

「本と遊ぼう！」

- ① 本の読み聞かせ
- ② 本の表紙で紙袋を作ろう
- ③ 紙芝居
- ④ 『ダーウィンが来た！』クイズ
- ⑤ 参加者子ども約 30 人



▲3名の読み聞かせボランティアさん



▲紙袋の作り方を教えてもらう子どもたち

午後の部

宮川の歴史講演会 & トークセッション

- ⑥ 講師：中島嘉文先生
- ⑦ パネラー：宮川の歴史を伝える会会員と閉校記念誌編さん委員長、ゲスト参加中島先生
- ⑧ 参加者約 30 人



▲懐かしい教室で聴講する参加者の方々



▲中島先生による、深くて分かりやすいお話

旧 宮川小学校跡地利活用計画がまとめられていた宮川地区では、旧宮川小学校を「宮川っ子を守り育てる拠点」「地域コミュニティ活動拠点」として位置付けています。また、今年度で宮川児童館も閉館することを受けて、まちづくり協議会では、これから宮川地区の子どもたちや保護者がゆったりと過ごせる場所が必要だという認識をもっていました。

2 年間たくさんの各種団体にお世話になりながら小学校の片付けを進めつつ、今年度新たに小浜市の「いいとこ小浜づくり協働推進事業」の助成を受けて「美やが和こども図書と歴史アーカイブの館づくり」事業に取り組みました。まだ手が付けられていなかった2階元和室と3階元パソコン室・元音楽室の3教室。これらの教

室を、宮川っ子と大人たちが集う「子ども図書」と、宮川地区の歴史を守り伝える「歴史アーカイブの館」につくり変えました。

実 質的な作業期間が半年だったので、年度末が近づくにつれて実行メンバーたちは休日や平日夜の時間を割いて、オープニングに間に合うように必死に取り組みました。彼らの頭にあったのは、目の前の施設が完成した後にはたくさんの地域の人たちがそこを訪れ、楽しんでいる姿でした。

3 月7日のオープニングでは、「子ども図書」で子ども向けと大人向けの企画をそれぞれ一つずつと、「歴史アーカイブの館」に関連して歴史の講演

オープニングデー！

2021年3月7日(日)



夜の部

梶本良司ブックトーク

「出遭いの準備」

- 講師：café watoto オーナー&浄土真宗僧侶 梶本良司さん
- 参加者 11名



▲部屋を薄明かりにして、落ち着いた空間に。

一粒の砂に世界を見、
一輪の野の花に天を見る。
汝の掌に無限を捉え、
一時の中に永遠を見よ。

ウィリアム・ブレイク

▲梶本さんが参加者のみなさんに送った言葉



▲前に出て下さったのは、左から畠中利夫さん、竹中全年さん、正木伸武さん、増田吉裕さん、松宮健一郎さん。



お世話になりました！

会とトークセッションを企画し、1日かけて旧宮川小学校を開放しました。

子ども向けイベントでは、宮川青年クラブのみなさんの全面的フォローを受けることができ、当日は保育園児～小学校4年生までの約30名の子どもが集まってくれました。宮川小学校で読み聞かせボランティアをしてくださっていた地区内3名の方も快く協力して下さい、それぞれ1冊ずつ子どもたちに聞かせたい絵本を選んでくださいました。

午後の講演をしてくださった中島先生は、今回の講演会のために宮川地区で採れる鳳足石を使った硯について独自に酒井家文書などを調べて下さった上、

事前に宮川地区の視察までしてくださり、おかげで参加者たちは地元に住んでいながら知らなかったことばかりの、大変満足度の高い内容となりました。その後のトークセッションでは、『宮川小学校閉校記念誌 くらかけ山に学び』と『わかさ宮川の歴史 追補版』という、近年発刊された2冊の書籍編纂に携わられた5名が、発刊までの経緯や編纂にかけた思いを話され、改めてこの方々に感謝する機会をもつことができました。

夜は、「子ども図書」のもつ可能性を感じてもらおうと、大人対象に梶本良司さんからご自身の生き方と本との関わりを話して頂き、最後は参加者自身も感想を自由に述べる時間をもつことができました。

それぞれのイベント後や歴史アーカイブの館の見学後には、みなさん「綺麗になったね、すごいね。」「来年度から定期的に開放するの?」「こういう風になっているということをもっと地区民に知ってもらった方がいいよ。」と、未来へ向けた前向きな感想をおっしゃっていました。今ようやくハード面の整備が一段落したところであり、いつ・どのように旧小学校を開放していくかという仕組みや、住民が集うためにはどういう仕掛けを用意したらいいかなどのソフト面については、これからまちづくり協議会で色々な人の意見を聞いて充実させていかなければなりませんね。

■ 昔の農具館



▶現在、地区内のたくさんの方々のご協力のおかげで、こんなにたくさんの昔の木製農具が集まっています。

美やが和 歴史アーカイブの館

OPEN!

■ 歴史資料館

▶天藤淳さんに揮毫していた
だいた立派な看板が目印!



▶歴代宮川小学校卒業集合写真が
展示されています。



お願い
します

昔の農具はまだ募集中です!
公民館までご連絡ください。☎57-1201

オープニング
イベントと
同じ日に
タイアップ!

教室後、歴史アーカイブの館を
見て帰ってくださいました。



男女共同参画推進事業 公民館主催学級 3月7日(日) 寄せ植え教室

花の里みやがわに住む人々は、お花が大好き! 集まった男女は最初に市民協働課の領家グループリーダーから男女共同参画についてのお話をお聞きし、その後素敵な寄せ植えを仕上げました。



講師は、松永地区在住の松川千香子先生。株がしっかりしたい苗を用意してくださり、優しく教えてくれました。



ほかに、宮川地区でこんなことがありました

2月25日(木)

福井県遊戯業協同組合若狭支部お菓子
菓子の贈呈式！



段ボール数箱分にいっぱいのお菓子をいただき、3月7日のイベントで使わせていただきました。本当にありがとうございました。

2月26日(金)

新・宮川地区観光マップ
1000部できました！



宮川地区の若者たちによって作られた、お洒落で温かみのあるマップ。市内の観光スポットに置いていただきました。宮川地区のみなさんも、ゆっくりご覧になってください。

2月27日(土)

加茂神社
オイケモノ神事



コロナ対策として神事を簡略化し短になりましたが、はるか昔から続く神事ですので、今年も滞りなく行われました。



烏帽子を被り、氏子になる前野寿天くん。



例年通り「物実」の芽立ちは良好で、豊作間違いなしだそうです。

2月27日(土)

美やが和 鳳足工房
陶芸教室(平皿づくり成形)

色々な焼き物に挑戦しようと、今回は平皿づくりに初挑戦！次回は釉薬かけです。



▲講師の清水和也先生。



3月6日(土)

いすみの会 生け花教室



今回は、ぼけ(木瓜)、バラ、玉しだ、ミミティアラ、ひかげのかずらと、春の花材です。深紅やピンク系統でまとめられた、心躍る作品に仕上がりました。ぼけが毎日少しずつ花開きます。(写真は、公民館に飾ってある漆崎紀子先生の作品です)

公民館主催学級

2月28日(日)

健康体操教室

場所 旧宮川小学校体育館



講師は、STUDIO VIGOR(スタジオ ビガ一)を主催しておられる、岩澤恵子先生。

以前から市内公民館などで体操指導をされていた岩澤先生は、この日も元気な人だけでなく、足腰やひざが痛い人でも無理なく取り組める内容を考えて下さいました。



お知らせ

令和3年度小浜市介護予防教室
やってみようから始めよう！

ココカラ元気教室

募集

お申込先

小浜市地域包括支援センター

(小浜市健康管理センター内)

☎ 64-6075

今年度まで他地区で行われていた毎年人気の定期教室が、来年度からなんと、宮川地区で行われますヨ！

この機会にご自身の健康を見つめ直し、コロナ禍の中で落ちてしまった体力や免疫を上げるためにもどしどしお申込みください。詳しくは、折り込みチラシをご覧ください。

4月の予定

5(月) 入園式(宮川保育園)

※コロナウイルス感染拡大予防のため、新入園児と在園児、保護者、保育会長、職員のみで行います。

8(木) 入学式(小浜美郷小学校)

※コロナウイルス感染拡大予防のため、新入学児と6年生、保護者、PTA会長、教職員のみで行います。

20(火) すこやかクラブ(10:00～、宮川公民館)

4月の
休館日

5(月)、12(月)、18(第3日曜)、
19(月)、26(月)、29(木・祝日)

編集後記

「宮川にこんなに子どもたちがいたんやなあ！まだしばらく大丈夫やな。」「講演を聞いたら、宮川って凄いところやったんだなあと嬉しくなりました。」「次は他のテーマでも講演会をしてほしい。」「本当にいい機会を作ってもらえてありがとう。」「ここがこんな使い方ができるとは思わなかった。」「こんなにしっかり集めたら、これからの宮川地区の宝になるわ。」

どれもこれも、3月7日に頂いた言葉です。小学校が閉校してしまった2年前、ゴミと備品だらけだった施設がここまで生まれ変わるとは、みなさん思っていなかったはず。せっかくこんな施設が近くにあるのだから、これからみなさんで「こんなことしたいな♥」とたくさんのアイデアを出して、楽しく活用してください。(Y)

お詫び

先月号の協議会日より表紙において、今年度子ども会会長の顔写真の下に載せたお名前が間違っていました。正しくは正木紀彦さんです。申し訳ありません。

退職の挨拶

「空き家になった実家を活用するために、宮川地区のまちづくりを勉強させてください。」

歓送迎会でそう挨拶してから、もうはや3年が経ってしまいました。

初年度は宮川小学校閉校記念誌の編纂事務、次年度は『わかさ宮川の歴史 追補版』の編纂事務、最終年度は3年がかりで旧宮川小学校利活用のまとめと、私はわずか3年の間になかなか体験することができない業務に携わせて頂きました。専門業務に自分の実力が及ばず、その都度勉強の繰り返しでした。

そのなかで、私は宮川地区の歴史を深く知ることができたのはもちろんなのですが、これまで宮川地区のために動いてこられた方々の素晴らしさも知り、また、現在地区のために骨身を惜しまず動いておられる方々の姿を間近で見ることができました。宮川地区は、豊かな自然が素晴らしいことはもちろんなのですが、私が一番勉強させてもらったのは、宮川の人のもつ「人間力」だと思っています。そのお陰で、私は3年前の未熟な自分よりかなり人間的に成長できました。

公民館という公共施設は、特に宮川地区のような中山間地域には無くてはならない施設です。「小さな役所」のような機能を果たしており、地区の「なんでも屋さん」です。けれど、人口減少や生活様式の変化とともに、色々と抱える問題があるのも見えてきました。来年度からは、自分の生まれた地区で実家を使って0から冒険しようと思います。「楽しそうに頑張る」が私のモットーなので、また顔を見にきてください。

これまで、私の至らぬ部分を大目に見て色々させてくださった館長を始め、助けて下さったみなさん、本当にありがとうございました。とても楽しい3年間でした。 吉村 順子